別添１（１）

指定管理者による管理運営の実施状況報告

１　施　　設　　名：　筑豊緑地

２　指 定 管 理 者 名：　みどりの環・筑豊（代表団体　株式会社設備保守センター）

３　指　定　期　間：　令和５年４月１日～令和10年３月31日

４　施 設 設 置 目 的：　都市公園の健全な発達を図り、もって公共の福祉の増進に資すること。

５　管理運営についての点検結果（令和７年４月１日～令和８年３月31日）

（１）点　検　方　法：　事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者の管理運営実施状況の点検を行った。

（２）点　検　結　果：　別添のとおり

別添１（２）

（筑豊緑地）

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	・幅広い年齢層が利用できるレクレーション空間、公平なサービスの提供、快適な空間の実現に取り組む。 ・地域コミュニティの拠点として、地域連携イベントの開催を、年10回以上行う。 ・女性の利用に関して、マタニティの方が休憩できるスペースやパウダールームを設け、快適な環境を提供する。 ・インクルーシブ遊具の設置に伴い、広報周知を行い、だれもが利用できるよう努める。	・広大な面積を有する緑豊かな公園で、野球場、プール等の様々な運動施設や緑地の管理運営を適切に行っている。 ・飯塚市や県スポーツ企画課等と連携し、クライミングの国際大会開催に全面協力を行い、大会の成功に貢献した。 ・冷暖房の効いた授乳室や管理棟１階の女性トイレにパウダールームを設置した。 ・インクルーシブな遊具広場全面供用の８月31日前後に広報活動を行ったことで、多くの来園者誘致に努めた。
②施設利用及びサービス向上	・プール独自の顔ハメパネルを設置し撮影スポットを設置したり、福岡県のマスコットキャラクターのエコトンを呼び、環境学習の場を提供する。 ・年１～２回、利用者のマナーアップ月間を定め周知させ快適環境とする。 ・球技場の利用状況に応じ地元小学校、幼稚園、保育園を対象に開放する機会を設ける。	・こどもの日や七夕の時期に撮影スポットを設置し、利用者から好評だった。 ・「プール利用についてのしおり」を利用者の利便性を考慮しながら複数回改定し、館内掲示や配布を行いマナーアップを図った。 ・令和６年度無料開放で利用のあった３団体が、令和７年度に球技場を利用する等、新規利用者の獲得に努めた。 ・プール、庭球場、野球場、球技場等利用者数：165,802人 （対前年度比122.5%、対Ｈ30年度比110.0%）

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
③経営（収支）改善	・利用料金収入の確保のため、営業活動を強化する。	・筑豊サッカー協会と連携し、ジュニア大会を５大会実施した。大会参加チームが後日球技場を利用し利用促進に繋がっている。 ・プール、庭球場、野球場、球技場等利用料金収入実績：23,187千円 （対前年度比124.3%、対Ｈ30年度比113.2%、対Ｈ17年度比94.0%） ・委託料実績額：215,035千円 （対前年度比103.6%、対Ｈ30年度比127.7%、対Ｈ17年度比107.9%）
④職員確保方策及び 健全な財政基盤	・経験豊富で業務内容に応じたスキルと資格を有する職員を配置する。	・業務内容に応じたスキルと資格を有する職員を配置し、相互に補完できるよう業務管理を行っている。
⑤施設管理上の個別事項	・安全管理者・衛生管理者の資格取得者を配置し、施設の安全管理の徹底教育を行う。	・安全管理者・衛生管理者の資格取得者を適切に配置している。そのほか心肺蘇生訓練、ＡＥＤ研修を実施している。

②点検結果

□ Ａ＋ （提案内容を上回った） ○ Ａ （提案内容をやや上回った） □ Ｂ （概ね提案内容どおり） □ Ｃ （提案内容をやや下回った） □ Ｄ （提案内容を下回った）	【総合コメント】 プール、硬式野球場、テニスコート等の大規模な運動施設及び広大な芝生広場を有する公園として、施設の管理運営や植栽管理等を適切に行っている。 インクルーシブな遊具広場が全面供用となった８月31日前後に広報活動を展開し、多くの来園者の誘致に努めた。 プール棟では、こどもの日や七夕の時期に撮影スポットを設置し、利用者から好評を得ている。また、「プール利用についてのしおり」を利用者の利便性を考慮しながら複数回改定し、館内掲示や配布を行いマナーアップを図った。 その他提案内容以外に、飯塚市や県スポーツ企画課等と連携し、クライミングの国際大会開催に全面協力を行い、大会の成功に貢献した。 以上のように、提案内容をやや上回った、適切な管理運営が行われている。